



大阪経済記者クラブ会員 各位

実証データを基に、飛躍的成長を果たすと期待される有望ベンチャー企業を選定！
大商が徹底的に支援し、その成長を加速させる！

“大商EVEシステム” 第5期支援対象ベンチャー企業決定！

大阪商工会議所

大阪商工会議所ベンチャー振興委員会(委員長=米田道生・(株)大阪証券取引所代表取締役社長)は、将来有望なベンチャー企業の成長を加速させる支援事業「大商EVEシステム」の対象企業として、**ヤング株式会社YC事業部**、**株式会社Cure**の2社【詳細は2ページ目<支援対象企業の概要>ご参照】を今般「大商EVEシステム第5期支援対象企業」として選出した。

対象企業の選出に際しては、支援希望があった5社に対して2007年12月20日に個別面談(1次審査)を実施。うち3社は2月4日のプレゼンテーション(2次審査)に進み、その結果、2社が選出された。

今後、大商は支援対象企業が掲げる具体的な目標の達成を目指し、以下に挙げる支援メニューをはじめとして、2社の実情に応じてあらゆる側面からの支援を実施する。

【「大商EVEシステム」の支援メニュー】

- ・「今後成長が見込まれる有力なベンチャー企業」としてPR
- ・ビジネスプラン発表会・商談会の実施
- ・大手企業等との事業提携へ向けての個別コーディネート
- ・投資ファンドやベンチャーキャピタル(VC)からの資金調達
- ・企業コンサルタントなどによる定期的な経営アドバイス など

【「大商EVEシステム」とは】

神戸大学大学院・忽那憲治(くつな・けんじ)教授が、大阪市内の設立後10年を経過した企業を対象に行った調査(平成15年実施)に基づき、創業時にビジネス・プランを作成している、外部株主の導入に積極的である、従業員の教育に力を入れている等、起業後10年間に雇用を伸ばしている企業が有する主として14の共通点【詳細は3ページ目

<大商EVEシステムの概要>ご参照】を多く有する、アーリーステージのベンチャー企業を、成長が見込まれる企業と選定。それらの企業を徹底的に支援し、その成長を加速化させることを目的としたベンチャー支援事業。平成17年度に開始した本事業により認定された企業はこれまで計7社【詳細は別紙ご参照】で、今回2社が新たに加わることになる。

EVE System = Excellent Venture Encouraging System

(本件お問合せ先)

大阪商工会議所 経済産業部ベンチャー振興担当(松本、中川)

TEL: 06-6944-6403 FAX: 06-6944-6249 e-mail: keisuke@osaka.cci.or.jp

ホームページ(URL) <http://www.osaka.cci.or.jp/Jigyou/eve/index.html>



< 支援対象企業の概要 >

ヤング株式会社 Y C 事業部(<http://www.young-jp.com/>)

- ・ 代表者名：廣中康弘 役職名：代表取締役社長
- ・ 所在地：〒534-0014 大阪市都島区都島北通1-11-16
- ・ 連絡先：TEL：06-6921-7755 FAX：06-6923-7777
- ・ 設立年月日：昭和38年4月15日（YC事業部は設立前）
- ・ 資本金：2,592万円（YC事業部はなし）
- ・ 従業員数：17名（常用17名。YC事業としては委託1名）
- ・ 事業内容：
圧電セラミック素子を使った、騒音下における音声通信機器の製造販売
- ・ 事業紹介
圧電セラミックの共振性を活かした、セラミックスピーカーと咽喉マイクを使った、コミュニケーションツールの製造販売。商品名：サウンドタッチ（商標登録済）

株式会社Cure(<http://www.healthcure.jp>)

- ・ 代表者名：小林 徹 役職名：代表取締役
- ・ 所在地：〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-24-15 IFP肥後橋ビル202号
- ・ 連絡先：TEL：06-6443-2520 FAX：06-6443-2620
- ・ 設立年月日：平成17年4月26日
- ・ 資本金：300万円
- ・ 従業員数：7名（常用3名）
- ・ 事業内容：
オーダーメイドサプリメントシステムの提供（クリニック、エステサロン、スポーツクラブ、調剤薬局、ドラッグストア向け）
ウェイトコントロールプログラムの販売
- ・ 事業紹介
ウェイトコントロールプログラム「Be-Smart」を利用した ダイエット教室運営と 「Be-Smart」のプログラム販売。ダイエット教室の エンドユーザーへのオーダーサプリメント、オーガニック食品などの販売の融合をはかる。



< 大商 E V E システムの概要 >

支援対象企業候補：

大阪・関西に拠点を有する創業後3年以内（創業前の個人も可）の企業で、主として以下の特徴を有する企業

- 企業設立時にビジネスプランを作成している
- 経営者が企業の経営企画、財務、研究開発等に携わった経験がある
- 以前に経営者としての経験がある
- 以前に企業設立の経験がある
- 以前に事業失敗の経験がある
- 異業種の企業での勤務経験がある
- 企業設立前に高い収入を得ていた
- 「自身の技術を試したい」など積極的な動機により企業を設立している
- 既存の企業・組織と全く関係のない企業として設立している
- 企業設立時の役員数が少ない
- 従業員の教育に力を入れている
- 経営者自身の自己研鑽（経営者向け講座等）に力を入れている
- 外部株主の導入に積極的である
- 同業種の企業間ネットワークの構築を重視していない
- その他、成長する企業の特徴を有する企業

支援対象企業の募集と選定：

随時募集

同システムでの支援を希望するベンチャー企業は、規定の応募用紙に必要事項を記載し申し込み。書類選考後、審査委員会での面談等を経て支援対象企業を決定する

審査委員会構成

座長：忽那 憲治・神戸大学大学院経営学研究科教授

委員：川分 陽二・フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長

立野 純三・株式会社ユニオン 代表取締役社長

細川 信義・エンゼル証券株式会社 代表取締役会長

森中 一郎・株式会社エフアンドエム 代表取締役社長

山科 裕・株式会社ビジネスデザイン 代表取締役

毎回2社程度支援企業を選定

支援内容例：

優れたビジネス案件には、最高500万円を出資

（「棧ファンド」からの出資を予定。ただし、該当企業がない場合もある）

個人投資家（エンジェル）へのPRツールである「棧ネット」（インターネット上でのマッチングサイト）への登録料（20,000円/年）が無料

多業種型総合“展示商談会”「大阪勧業展」の出展料（52,500円）が無料

「今後成長が見込まれるベンチャー企業」として大阪経済記者クラブで公式プレス発表

大商のネットワークを使って、大企業との事業提携、ベンチャーキャピタルからの資金調達、大学・研究機関との共同研究、販路開拓などをコーディネート

企業コンサルタントなどが定期的に経営アドバイス（年2回程度）

支援期間・目標：

1年ごとの更新で、原則として3年間。

支援決定時に、支援対象企業ごとに雇用増、売上・利益増、IPO、M&A等の目標を具体的に定める。

対象企業が目標を達成した場合等、状況によって支援を打ち切る場合がある。